

◇令和6年／2024年5月号 第108号◇

會



フジサンケイグループ

報

産経国際書会

SANKEI INTERNATIONAL SHO ASSOCIATION



就任1年を迎えた高橋照弘理事長は令和6年度総会に臨み、「第40回記念の特別展『産経国際書会40年ーそのはじまりと歩みー』『田中鳳柳コレクション 中国 明・清の書画名品展』は、先生方のご協力を賜わり、好評裡に終了できた」と謝意を示しました。



産経新聞社
取締役会長
産経国際書会会長
飯塚 浩彦

世界でも書会の存在感を高めたい

令和5年は高橋照弘新理事長のもと、産経国際書会40周年を記念する多くの事業が開かれました。

書会創立に力を尽くされた先達の遺墨や中国明・清時代の名品の数々、海外書壇との交流といった産経ならではの企画から、40周年記念誌の発行まで高い評価を頂きました。

そして、40周年最後の事業の「未来に向かう産経国際書会―大作を中心に―」が先頃、東京・上野の森美術館で盛会のうちに終了しました。

最高顧問から若手書家まで71人がそれぞれ、バラエティーに富んだ大作を披露頂き、現在の日本の書道界での当会の位置づけを示すような内容の濃い展覧会となりました。

来年4月から大阪・夢洲で、「2025大阪・関西万博」が開催されます。先日の総会でもご報告しましたが、万博会場内のギャラリーEASTで「産経国際書展大阪・関西万博展(仮称)」を6月14日から19日まで行うこととなりました。

7か月に渡る期間中は国内外から1400万人の来場者が想定されています。海外からのお客様にも当会をアピールできるような内容や機会にしたいと思っています。

また、昨年12月には書道のユネスコ無形文化遺産への提案が正式に決まりました。当会も世界遺産登録の推進団体に所属しており、これを機に書道の国民的な普及活動に向けて尽力し、当会のブランド力アップを図りたいと思います。

結びに、皆様の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたしまして、私の新年度の挨拶いたします。



産経国際書会
理事長
高橋 照弘

立ち止まらず進め

令和6年4月、産経国際書会総会において、令和5年度決算、次いで6年度事業計画案、予算案などが承認され、令和6年度産経国際書会の活動が開始されました。

第40回記念展は書会、会員の士気を高めることができ、大層有意義な年でありました。

特別企画として田中鳳柳先生蒐集の明清書画による「田中鳳柳コレクション 中国明・清の書画名品展」、同時に「産経国際書会40年―そのはじまりと歩み―」は、会員をはじめ、書道界、書画愛好者から高い評価を得ました。書会皆が誇らしさを覚えたことと思います。

そして四国展(松山市)、上野の森美術館「大作展」は記念展の終章として相応しいものとなりました。すべて順調にし得たことはひとえに会員皆さまのご支援ご協力なくして成し得ないことでした。改めて御礼を申し上げます。

大仕事の後は目標を立てづらく、空洞化へ向かうことは避け難いものではありますが、立ち止まらず余勢をそのままに進めなくてはなりません。組織の力は人です。書会創立以来、会派を越え結束した原点を今一度見つめ直す機会であるかと考えます。本年度も研修会、会員が集う場が予定されています。同志互いに誘い合い、積極的に参加され、また他社中展へも足繁く出かけ交流し、縦横に展開して親睦を深めることが重要であると思います。

本年、特別企画として呉昌碩生誕180年を記念し、未公開作品を展示します。新しい魅力を発見できることと思います。

引き続き書会にご協力をお願い致します。

令和 **6** 年 産経国際書会総会 開催



産経国際書会総会で、執行部の説明を聞く参加者

書の交流を通じて国際親善の輪を広げる全国組織「産経国際書会」(会長・飯塚浩彦産経新聞社取締役会長)は4月18日、東京都千代田区の手町サンケイプラザで令和6年度総会を開いた。

冒頭、三笠博志・産経新聞社事業本部長(書会会長代行)はあいさつに立ち、「書の素晴らしさを広く伝えたい。折しも『書道』はユネスコ無形文化遺産登録へ動き出した。書会が牽引役として存在感を示したい」と抱負を語った。

議事は高橋照弘理事長が進行。第40回記念産経国際書展や初開催の四国展など令和5年度の事業報告が行われたほか、2025年大阪・関西万博での特別展開催や令和6年度事業計画・予算、人事案件などが承認された。



「書の魅力を広く伝えたい」と語る三笠博志・産経新聞社事業本部長

<議案>

1. 令和5年度・第39期(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の事業報告
2. 令和5年度・第39期(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の収支報告
3. 令和6年度・第40期(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の事業計画
4. 令和6年度・第40期(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の収支予算
5. 人事案件
6. その他

第39期 事業報告

◆令和5年度総会

令和5年4月20日(木)、大手町サンケイプラザで59人が参加して総会が開催された。第38期の決算、事業報告の了承と第39期の予算、事業計画、人事などが承認された。

◆第40回記念産経国際書展

審査会 審査日 令和5年5月30日(火)～6月2日(金)
30日搬入、審査は3日間

会場 東京都立産業貿易センター台東館
6階展示場(東京・台東区)
審査員のべ61人、うち15人が特別選考委員。

展覧会 会期 8月14日(月)～8月20日(日)
7日間

会場 東京都美術館 ロビー階及び1階第1、2、3、4展示室と2階第1、2展示室

作品数 6,012点(昨年5,521点)
※東京会場総展示数=2,701点

入場者 6,337人(昨年4,534人)

贈賞式 8月18日(金)、明治記念館「蓬莱の間」
1部 13:00～14:00 公募、会友の受賞者239人(昨年162人)出席
2部 15:00～16:00 無鑑査、審査会員の受賞者49人(昨年31人)出席

祝賀会 8月18日(金)、明治記念館「富士の間」

【イベント】①初日14日(月)13時から山下海堂最高顧問、風岡五城名譽理事長、高橋照弘理事長、坂本香心理事長代行、渡邊麗理事長代行、飯塚浩彦産経新聞社長の5人がテープカットを行った。

②揮毫会、ギャラリートーク、ワークショップなどイベントは行わなかった。

【特別展】①「産経国際書会40年ーそのはじまりと歩みー」産経30人、その他11点

②「田中鳳柳コレクション 中国 明・清の書画名品展」32作家41点

③特別色紙展＝御題は「開」と「尊」、応募は66点(昨年55点)

④韓国書壇・特別展示＝韓国書壇の代表作家紹介は29点

⑤特別展示＝芸能人の書 秋吉久美子、岡部まり、中山秀征、藤田三保子、松村雄基、矢野きよ実

⑥フジテレビ系ドラマ「ばらかもん」とタイアップ企画＝主人公、半田青舟(杉野遥亮)が書いた番組で使用した「楽」を展示。フジテレビで「ドラマの作品が産経展に展示」とPR

◆2023産経ジュニア書道コンクール

審査会 審査日 6月26日(月)
会場 東京都美術館地下3階第2審査室
A、B、第2作業室A、B

審査員30人(実行委兼務8人)、
実行委員3人
※審査後整理＝6月27日(火)、
28日(水)

展覧会 会期 8月14日(月)～8月20日(日)7日間
会場 東京都美術館 2階第3、4展示室
作品数 12,580点(昨年11,741点)
入場者 5,731人(昨年4,487人)

贈賞式 8月19日(土)11:00～16:00、東京都美術館講堂
3部構成として実施。いきいき賞、ジュニア賞、
高校生部門と中学生以下特別賞との3つに分けて行った。各区分とも約40分、ほぼ予定通りのスケジュールで実施することができた。全ての贈賞終了後に「席書会」を実施。

出席者:いきいき賞69人、ジュニア賞51人、
高校生24人、中学生以下特別賞21人

【席書会】 高校生4人、中学生3人、小学生4人の計11人の上位入賞者で行った。

【ワークショップ】 「筆と墨でうちわや半紙に字を書こう」
8月15日(火)、17日(木)13:30～15:30、2階第3展示室奥

○上記イベントを毎日、随時実施したところ来客者に変大好評。会場の賑わいが集客にもつながった。

◆第40回記念産経国際書展 関西展

会期 令和5年8月30日(水)～9月3日(日)

会場 京都市・京都市京セラ美術館

作品数 426点 ジュニア237点

入場者数 2,105人

贈賞式・祝賀会 9月3日(日)、リーガロイヤルホテル京都
受賞者72人、祝賀会141人が参加。

◆第40回記念産経国際書展 東北展

会期 令和5年9月8日(金)～9月13日(水)

会場 仙台市・せんだいメディアテーク

作品数 218点 ジュニア223点

入場者数 1,016人

贈賞式・祝賀会 9月10日(日)、ホテルメトロポリタン仙台
受賞者29人、祝賀会74人が参加

◆第40回記念産経国際書展 瀬戸内展

会期 令和5年9月26日(火)～10月1日(日)

会場 広島市・広島県立美術館

作品数 262点 ジュニア187点

入場者数 990人

贈賞式・祝賀会 9月30日(土)、ホテル広島ガーデンパレス
受賞者28人、祝賀会98人が参加

◆第40回記念産経国際書展 中部展

会期 令和5年11月7日(火)～11月12日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリー

作品数 370点 ジュニア60点

入場者数 1,225人

贈賞式・祝賀会 11月12日(日)、ホテル名古屋ガーデンパレス
受賞者41人、祝賀会99人が参加

◆第40回記念産経国際書展 四国展

会期 令和5年11月29日(水)～12月3日(日)

会場 愛媛県美術館

作品数 256点 ジュニア239点

入場者数 600人

贈賞式・祝賀会 12月2日(土)、ANAクラウンプラザホテル松山

受賞者27人、祝賀会94人が参加

◆四国展開催記念 産経国際書会研修会

実施日 12月1日(金)～3日(日)

会場 松山市、愛媛県美術館講堂ほか

内容 三輪田米山の石碑めぐり、
講演会「三輪田米山の魅惑」三浦和尚(愛媛大名誉教授)

※講演会は80人が聴講

※石碑、日尾八幡神社訪問、講演会などツアー参加者は15人

◆令和5年度理事会

令和5年12月7日(木)、大手町サンケイプラザで52人が出席して理事会が開催された。主に40回記念展の

報告があり、2025年の大阪・関西万博への取り組み方に関しての提案がなされた。

◆第40回記念産経国際書展 新春展

大作下見検討会 令和5年9月21日(木)

国立新美術館 地下1階審査室

Ⅱ(公募)審査 令和5年12月8日(金)

国立新美術館 地下1階審査室

会期 令和6年1月24日(水)～2月5日(月)

会場 国立新美術館

作品数 809点

入場者 3,504人

大作品者 町山一祥副理事長、岩間桃香理事、大澤玉鳳さん(無鑑査)

テーブルカット 1月24日(水)10:30 国立新美術館2階展示室入口

山下海堂産経国際書会最高顧問、竹澤玉鈴同名誉顧問、手島たいりく同名誉顧問、原田圭泉同名誉顧問、高橋照弘同理事長、飯塚浩彦取締役会長の6人で行った。

贈賞式・祝賀会 2月5日(月)16:00～18:00

明治記念館

※ギャラリートークは行わなかった。

第40期 事業計画

◆第41回産経国際書展 審査会

会期 令和6年5月28日(火)～5月31日(金)

会場 東京都立産業貿易センター台東館6F

※5月28日(火)は作品搬入、懇親会は17:00から台東館8Fレストランで行う

◆2024産経ジュニア書道コンクール 審査会

会期 令和6年6月24日(月)※25、26日に作品整理

会場 東京都美術館 地下3階第2作業室A・B、
審査室A・B

◆第41回産経国際書展

会期 令和6年8月14日(水)～8月21日(水)

会場 東京都美術館 ロビー階、
1階第1室～第4室、2階第1、2室(計10室)

贈賞式・祝賀会 8月20日(火)明治記念館 13:00～

◆2024産経ジュニア書道コンクール

会期 令和6年8月14日(水)～8月21日(水)

会場 東京都美術館 2階第3、4室

贈賞式 8月17日(土)東京都美術館講堂 11:00～

◆第41回産経国際書展 関西展

会期 令和6年9月4日(水)～9月8日(日)

会場 京都市京セラ美術館

贈賞式・祝賀会 9月8日(日)リーガロイヤルホテル
京都 12:00～

◆第41回産経国際書展 東北展

会期 令和6年9月13日(金)～9月18日(水)

会場 せんだいメディアテーク

贈賞式・祝賀会 9月15日(日)ホテルメトロポリタン
仙台 15:00～

◆第41回産経国際書展 瀬戸内展

会期 令和6年9月24日(火)～9月29日(日)

会場 広島県立美術館

贈賞式・祝賀会 9月28日(土)広島ガーデンパレス
14:00～

◆2024産経国際書会秋季研修会

会期 令和6年10月19日(土)～10月20日(日)

会場 中央区立産業会館 2階展示室

◆第41回産経国際書展 中部展

会期 令和6年11月6日(水)～11月10日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリー

贈賞式・祝賀会 11月10日(日)ホテルメルパルク名古屋
12:00～

◆令和6年度理事会

会期 令和6年12月5日(木) 14:00～

会場 大手町サンケイプラザ311・312号室

◆第41回産経国際書展 新春展

会期 令和6年1月22日(水)～2月3日(月)

会場 国立新美術館

贈賞式・祝賀会 2月1日(土)明治記念館 16:00～(予定)

第40期 産経国際書会役員

2024. 4 ~ ○=新任(敬称略 50音順)

【会 長】	飯塚 浩彦								
【最高顧問】	齋藤 香坡	村越 龍川		山下 海堂					
【会長代行】	伊藤 富博	三笠 博志							
【名誉顧問】	生田 博子	石川 天瓦		今口 鷺外	竹澤 玉鈴		手島 たいりく		
	原田 圭泉	平方 峰壽							
【常任顧問】	今田 篤洞	岩浅 写心		岩下 鳳堂	岩田 正直		上野 鶴陽		
	青陽 如雲	高木 撫松		田村 政晴					
【顧 問】	小名 雪王	加藤 深流		白崎 菖汀	三上 錦水		望月 暁云		
【客員顧問】	齋藤 華秀	晋 鷗		高畑 常信	武田 厚		竹中 幸生		
	趙 白鶴	平方 研水		劉 洪友					
【参 与】	○大橋 玉樹	木住野 栄		杉原 静花					
【名誉理事長】	風岡 五城								
【理 事 長】	高橋 照弘								
【理事長代行】	坂本 香心	渡邊 麗							
【副理事長】	青木 錦舟	勝田 晃拓		金丸 鬼山	高頭 子翠		武富 明子		
	建部 恭子	正川 子葉		町山 一祥	松井 玲月		松崎 龍翠		
	村田 白葉	山本 晴城							
【専務理事兼事務局長】		糸 雅人							
【事務局次長】	杉本 弥美								
【事務局員】	高橋 天地								
【事務局顧問】	吉井 雄二								
【常務理事】	赤堀 翠柳	浅香 秀子		石井 理春	泉 芳秋		磯邊 哲舟		
	伊藤 春魁	伊東 玲翠		今井 翠泉	岩村 恵雲		上村 陽香		
	江戸 秀虹	遠藤 乾翠		大庭 清峰	岡本 杏華		小川 艸岑		
	小名 雪揺	小野 亭良		加藤 香誓	鎌田悠紀子		菊山 武士		
	木村 大澤	黒田 浩芳		小杉 修史	後藤 教子		斎藤 秀翠		
	五月女紫映	眞田 朱燕		菅原 有恒	鈴木 青苑		鈴木 博子		
	鈴木 祐洞	○鈴木 蓉春		田島 青谷	戸叶 幽翠		長尾 佳風		
	永田 龍石	中野 和博		中村 雪鷺	西尾 秀誠		西川 万里		
	林 龍成	○久田 方琥		人見 恵風	堀江 宣久		○前田 聖峰		
	○眞々田壽扇	○本橋 春景		諸留 大穹	○山下 翠風		吉野 富龍		
	渡邊 祥華	渡部美恵子							
【専管理事】	安蒜 欣青	生田 佳葉		遠藤 香葉	及川 扇翠		老川 揺舟		
	大田 桂水	○大段 栄泉		恩田 瑞貞	梶谷 綾泉		北川 佳邑		
	北野 香春	小泉 玲洸		○五戸 光岳	小林 紫雲		小宮 求茜		
	近藤 豊泉	佐藤 志陽		篠原 秀朋	鈴木 曉昇		鈴木 愚山		
	諏訪 春蘭	高野 彩雲		武 翠泉	竹内 美翠		橘 圭子		
	谷 蒼涯	鶴田 秀紅		富田 静流	中野 桂月		西尾 蘭畦		
	芳賀 祥緑	羽根田和香		菱沼 東坡	平岡 雄峰		松岡 篁月		
	三橋 和泉	宮川 彪子		三宅 秀紅	○村越 弘鷹		○渡邊麻衣子		

【理事】	石井 思水 梅内 春藍 大八木雅山 影山 瑤琴 久米 麗鳳 斎藤 修竹 鈴木 葉光 田中 龍瀨 中塚 龍華 林 清方 蓑口 草川 ○矢崎 藤香 山田 秀園 和田 玲砂	伊藤 牙城 大川 詢子 岡村 公裕 加柴 律子 小杉 秀花 齊藤 春欣 関根 史山 玉木 白雲 中平 博子 平本 一恵 宮崎 礼子 柳 鵬翔 横田 玉華 渡辺 龍泉 柴山 枝峯	岩田 和道 大澤 芳洲 刑部 翠風 加藤 松亭 小林 千津 佐武 照聲 関根 春峰 玉田 子翠 ○中村 蘭香 藤井 峯子 宮平 翠玲 ○山口 了世 横溝 景陽	岩間 桃香 大場 映翠 小名 玉花 加藤 竹藜 今野 美晁 沈 強 瀬戸 桂舟 辻 和雲 長谷川明扇 布施 夏翠 室伏 雅箏 山田 娃泉 吉本 麗竹	上田 智子 大久 恵華 小野 左鷺 木村 翠川 齋藤 欣江 鈴木 蒼 高橋 峰月 長瀬 沙焱 早坂 喜伊 古谷 華楓 盛田 理泉 山田 華萌 ラモス逸子
【監事】	河口 美櫻	阿久津由美	○新井 瑞鳳	荒井 裕水	有友 啓扇
【評議員】	愛澤 奏劍 飯田恵美子 石川 秀苑 岩佐 登花 圓田 翠泉 大竹 翠葉 小笠原素心 ○小野寺聖乗 カレン紅鸞 小嶋カズ子 佐藤マス子 清水 碧沙 ○須田 瑞兆 田嶋 華翠 ○田村 廸子 銅山 桂銅 ○野原 永翔 日野 翔鳳 藤村 満恵 ○堀江 龍舟 松岡 静仙 三宅 華子 八木 一華 米山 石峯	井形 大正 石川 由美 岩澤 翠汀 黄木 孝一 大谷 煌水 ○岡田 崇花 梶井 香龍 河原畑静揚 小関 麗翠 佐野麻理子 末永 香雅 須山 馨扇 橘 黄華 塚原 桃虹 ○富岡 桃翠 波多野久美 平野 恵亮 降幡 加津 堀川 梨華 松戸 清玲 宗像 翠龍 山崎 玉松 渡辺 敦子	○石井 政子 石黒 鴻羽 ○植木由樹子 大木 翠晃 大谷 芳雨 小谷 翠谷 加藤 桂谷 倉賀野 静 坂井 光泉 澤村 春泉 菅井 裳雲 ○曾根 小徑 田中 香雪 津久井桂葉 中井 悦子 羽根田菖風 福島 恭子 古谷 紫水 ○前田 恵泉 松永 葵心 ○村山 蛭泉 山村 萌扇 渡邊 正峰	○伊勢 枝香 植田 泰之 大毛 青舟 ○大平 美侑 小野 秀美 加藤 石泉 ○倉島 美瑤 ○作村 聖風 篠原 寒鵬 杉原 和香 高橋 翠石 田中 春畝 土田 芳水 中西 美蕙 林 英道 福田 世英 星野 秀水 正光 紅雲 松永 光鳳 ○本山 鈴翠 山本てるみ	○梅田ちか子 大田 美州 岡崎 洋翠 小野寺佐苗 門山 玲花 小久保里子 定野 桂雪 清水 畦花 鈴木 邦仙 高橋 雄喜 田端 香峰 ○勅使川原里雪 野尻 春華 ○晴山 竹芳 藤井 玉暎 星野 葉柳 町田 武山 ○松本 玉葉 森田 香深 ○吉本 雪華

第 41 回 産経国際書展に向けて



基本理念 4C 忘れずに

実行委員長 副理事長 金丸鬼山

第37回展(令和2年)から第40回記念展(昨年度)までコロナ禍に怯むことなく、できる限りの感染対策を講じ、書展の開催を実施してきました。しかし対面でのイベントは中止せざるを得ない状況でした。

さて今年はコロナが感染法上5類に移行したこともあり、卒業式、入学式、入社式などは対面での式典となり、晴れ晴れとした素顔がテレビに映し出されていました。

第41回展より本展開催中のイベントが復活して、来場者とのコミュニケーションを取り、書道の楽しさを改めて身近に感じてもらえたらと思います。

企画部担当の先生方の協力が必須です。まずは「ギャラリートーク」「揮毫会」が本展開催中のイベントとして実施予定です。また、本展内の特別展示「呉昌碩生誕百八十周年記念」「モンゴル書道」も企画されています。

今回実行委員長の任を仰せつかりました。最初の仕事が5月28日から始まる4日間にわたる審査会です。多くの審査事務スタッフ、各社中の当番審査員の先生方の協力により、書会の基本理念である4C〈Clean(清素・透明)、Clear(明朗)、Creative(創造)、Character(品格)〉を基に審査は行われます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

第 41 回 産経国際書展 審査員

●特別選考員

石川天瓦、今口鷺外、岩浅写心、風岡五城、笠嶋忠幸、齋藤香坡、高橋照弘、竹澤玉鈴、田村政晴、鍋島稲子、原田圭泉、村越龍川、山下海堂、劉作勝、渡邊麗

●漢字

青木錦舟、磯邊哲舟、伊藤秀泉、江原梢風、大田桂水、大庭清峰、恩田瑞貞、木村大澤、坂本香心、鈴木曉昇、十亀紫風、長尾佳風、林龍成、平岡雄峰、村田白葉、山崎翠嵐

●かな

伊藤春魁、小名雪揺、鎌田悠紀子、齊藤春欣、谷蒼涯

●現代書

伊藤汀舟、遠藤香葉、小川艸岑、加柴律子、小杉秀花、小宮求茜、高頭子翠、長谷川明扇、正川子葉、三宅秀紅、渡邊麻衣子、渡辺龍泉

●篆刻・刻字

岩浅写心、高橋照弘、沈強

●臨書

建部恭子、中村雪鷺、町山一祥、松井玲月、山本晴城

●U23

秋葉秀匡、新井瑞鳳、笹山紅樹、関根春峰、武富明子、松崎龍翠

※外部審査員 特別選考委員＝笠嶋忠幸(出光美術館学芸部次長)
鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)
劉作勝(愛知学院大学教授)

第 41 回 産経国際書展実行委員会

【実行委員長】		金丸鬼山
【審査部】	本部長	勝田晃拓
	漢字部 部長	吉野富龍
		副部長 本橋春景
	委員	石川晴空、菅井裳雲、横溝景陽、和田玲砂
	かな、篆刻・刻字、臨書部	
	部長	諸留大穹
	委員	進藤栄峰、土田芳水、松岡篁月、宮川彪子
	現代書部 部長	西川万里
	委員	河口美櫻、山沖春蘭、横田玉華
【搬出入部】	顧問	伊東玲翠
	部長	永田龍石
	委員	梶谷綾泉、門山玲花、神谷映水、塚原桃虹、村山蛭泉、矢野春潮、山下翠風
【陳列部】	部長	山本晴城
		副部長 永田龍石、渡邊祥華
	委員	阿久津由美、安蒜欣青、老川揺舟、大場映翠、岡村公裕、五戸光岳、柴山枝峯、鈴木曉昇、鈴木蓉春、関根史山、中野和博、林龍成、村越弘鷹
【図録部】	部長	青木錦舟
		副部長 岩村恵雲
	委員	大久恵華、恩田瑞貞、久米麗鳳、諏訪春蘭、高橋峰月、武翠泉、中村蘭香、村山蛭泉
【東京部会】	部長	武富明子
		副部長 黒田浩芳、山下翠風
	委員	岩間桃香、久米麗鳳、関根春峰、平本一恵
【東北展】	顧問	田村政晴
	実行委員長	松崎龍翠
	事務局長	建部恭子
	実行委員	小嶋カズ子、五戸光岳、末永香雅、鈴木葉光、芳賀祥緑、宮崎礼子、渡辺敦子、渡部美恵子、渡辺龍泉
【中部展】	顧問	村越龍川、風岡五城
	実行委員長	村田白葉
	副実行委員長	勝田晃拓、山本晴城、渡邊祥華
	実行委員	赤堀翠柳、磯邊哲舟、伊藤春魁、老川揺舟、大場映翠、岡本杏華、刑部翠風、菊山武士、木村大澤、小泉玲洸、佐武照聲、田中龍淵、村越弘鷹、和田玲砂
【関西展】	顧問	平方峰壽、今口鷺外
	実行委員長	松井玲月
	副実行委員長	正川子葉
	実行委員	小野亭良、長尾佳風、中村雪鷺、久田方琥、西尾蘭畦、篠原秀朋、生田佳葉、竹内美翠、加藤竹黎、柳鵬翔、山田秀園、山田娃泉、山口了世
【瀬戸内展】	実行委員長	大庭清峰
	副実行委員長	上村陽香
	実行委員	大田桂水、石井思水、平岡雄峰、大段栄泉、松岡舟波、三宅秀紅、鈴木蒼、藤井峯子、圓田翠泉、田中春畝、藤井玉瑛、曾根小徑、田中吳峰、植木由樹子、美之口琴晴

第 40 期 産経国際書会運営委員

※任期は令和6年4月1日～令和7年3月31日(50音順)

- 【総務部】** 担当 理事長代行 坂本香心
部長 浅香秀子
委員 鈴木博子、戸叶幽翠、人見恵風
- 【会報・広報部】** 担当 副理事長 高頭子翠
部長 小川艸岑
委員 影山瑤琴、早坂喜伊、横田玉華、渡邊麻衣子
- 【企画部】** 担当 副理事長 金丸鬼山
部長 岩村恵雲
委員 大久恵華、恩田瑞貞、北野香春
- 【研修部】** 担当 副理事長 勝田晃拓
部長 永田龍石
委員 進藤栄峰、松岡篁月
- 【教育部】** (ジュニア育成)担当 副理事長 松崎龍翠
部長 眞田朱燕
副部長 高野彩雲
委員 岡田崇花、鎌形美遊、小池雅游、今野美晁、笹山紅樹、鈴木葉光、長谷川明扇、星野葉柳
- 【渉外部】** 担当 副理事長 町山一祥
部長 鎌田悠紀子
部員 遠藤香葉
- 【会員増加企画(東京)】** 担当 理事長代行 坂本香心、渡邊麗
【会員増加企画(大阪)】 担当 副理事長 正川子葉、松井玲月
- 【東京】** 部長 武富明子
副部長 黒田浩芳
- 【東北】** 部長 松崎龍翠
副部長 建部恭子
- 【中部】** 部長 山本晴城
副部長 伊藤春魁
- 【関西】** 部長 松井玲月
副部長 正川子葉
- 【瀬戸内】** 部長 大庭清峰
副部長 上村陽香

新しく審査会員になられた方

石川水碧	石原志仙	猪浦明翠	岩倉瑞季	上田尾桜香	大沢玉鳳	大友博子	尾末静翠	小久保撞文
今野榮園	酒井雅代	嶋田清亭	島田昌広	鈴木記久子	鈴木 瑞	園田桃香	代島翠葉	只野翠苑
田中柳惲	常松昇儷	戸所青苑	橋爪玉雪	馬場睦子	林 帛甫	東浦曉舜	肥後彰宴	藤島果那
水田翔葉	矢嶋粹瑤							

新しく無鑑査会員になられた方

安藤佳舟	市川鈴雪	市原澄子	伊藤蒼苑	伊藤芳翠	伊藤雅子	植西美侑	大内城翠	大谷暁雪
大山ゆかり	小笠原玉玲	小笠原玉徑	岡田知則	加藤洋子	我那覇喜琉	河村春璃	北野寛子	木本慈眼
栗原蓮翠	黒澤姫扇	合屋佳風	後藤正子	小西桜吟	小峰雪韻	金剛琢蒼	坂口静湖	坂本蒼榮
坂元雅子	佐藤暁光	白川鼎心	田頭育子	武石扇英	田中瑛恵	田中玉鈴	鶴淵雅泉	鳥居貴子
長瀬梅昇	中村双琴	新谷翠泉	西野 文	西村美硯	橋本粹蓮	波多野千瑛	原口玉燕	廣瀬麗香
藤田志春	星山碧川	牧野翠花	松井秋岳	松本昇薇	松本昇璃	三井里枝子	茂木綵霞	森川桂子
安田琳華	山内玉泉	王 瑩						

新しく会友になられた方

秋山紫翠	足立智教	阿部典翠	安静圓成	飯田美佳	石川千佳	石川真紗代	石田弥楓	市川和子
市川由布子	市原直子	市原 恵	伊藤律子	井上仙華	岩田綾佳	上田朴城	上原瑚雪	牛嶋紅楓
海野桃仙	江口鶴翠	江場由紀子	大城春慶	大野節子	大島佳子	奥城蒼月	小熊雄一郎	小倉有香子
尾作泰仙	小田恵美子	小俣紫香	小山敏子	笠間勝子	風間翠泉	片倉煌舟	加藤貫源	加藤智奈美
門田千瑤	上村尚風	河端史子	木坂京華	岸田京子	楠友紀子	倉持庸華	桑 蘭壽	小林香織
五味尊子	坂本静香	櫻井明夢	佐藤三千代	佐藤明洲	佐野紫風	澤 桃華	篠原一浩	渋谷和子
渋谷眞智美	清水玲飛	下井尚美	須永曉聖	田頭紫耀	高瀬幹子	高橋祐子	高原栄香	高原佳恩
谷 政憲	玉手寿杏	團 蓮禾	辻本安子	角田秀蘭	角田麗扇	手塚純子	殿村翠蘭	豊原紀子
永井華風	中嶋龍樹	中水蕙葉	長屋茂子	中山美扇	納谷宗石	布川裕美子	橋本敦心	荷田弥穂
林 澄泉	林 優里	半谷松秀	平尾佳瑛	深澤慶川	藤井昭子	藤井凜紅	藤岡蒼海	藤田姫水
藤原紫泉	程田香雪	堀江弘昭	本間節子	前田美奈子	前野美詠子	蒔田桜蘭	増田 圭	松下緑蔦
松原謙斗	松原山恵	マホニー由紀	宮崎扇苑	村上自彊	望月恩壽	望月香風	森田康仁	森田玲心
矢澤見左子	山田爽月	横田礼子	若宮舞奏	渡邊暁扇	渡辺菁香			

第40回記念 産経国際書展 新春展



東京部会部長 副理事長 武富明子

令和6年1月24日、国立新美術館において新春展がテープカットを皮切りに華やかに開幕しました。白くて高い壁面、広い空間、明るい照明という演出効果で、新春展ならではの大作やカラフルな軸など例年本展とは異なった雰囲気を感じます。東京部会としては、この度、受付担当に新しく2社中が加わり、書会の会員同士の絆を深めることができました。

最終日の2月5日に明治記念館(東京都港区)で行われた贈賞式・祝賀会は大雪に見舞われました。宴の間、降りしきる窓外や名庭の雪景色は情緒がありましたが、現実には出席者の誰もが大変な苦勞をして帰路に…と相成りました。これも後には、忘れ得ぬ思い出となることでしょう。

第40回新春展は部会並びに書会の方々のおかげで無事に終了致しました。ご来場者数も新型コロナ禍の頃よりぐんと増えました。極寒の中、ご高覧賜り心より厚く御礼を申し上げます。

年が明け、元日には能登半島地震、翌2日には羽田空港で飛行機が衝突・炎上する事故が相次いで起こり、驚きを禁じ得ませんでした。いまだに被災者には辛い生活が続いておられるとのこと、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を祈っております。

あれから日が経過し、河津桜に次いで枝垂れ桜が咲き始めました。何があっても自然の息吹は続くものですね。「現在」を大切に前に進んで参りましょう。



テープカット



代表展会場



大作に圧倒



新春展Ⅱ会場



産経新聞社賞受賞の皆さん



会友奨励賞受賞の皆さん



奨励賞受賞の皆さん



奨励賞受賞の皆さん



奨励賞受賞の皆さん



奨励賞受賞の皆さん

昨年の来場者を537人上回る

「第40回記念産経国際書展新春展」は会期中、3504人が来場し、会場は賑わいをみせました。来場者数は昨年を537人上回りました。新型コロナ禍による大幅な落ち込みからの底堅い復活を印象付けました。

新春展は、産経国際書会の役員による「代表展」(182点、うち大作3点)、審査会員・無監査会員からなる「新春展Ⅰ」(196点)、会友や公募の「新春展Ⅱ」(431点)で構成。会場には計809点の力作が展示されました。大作は、町山一祥副理事長が「夢」、岩間桃香理事が「紀貫之 そでひちて…」、大沢玉鳳無監査会員が「海」を披露しました。

「新春展Ⅱ」の審査は令和5年12月8日、国立新美術館で、産経国際書会幹部6人(青木錦舟、勝田晃拓、高橋照弘、町山一祥、松井玲月、武富明子の各氏)により厳正に実施され、各賞が決定しました。

贈賞式は2月5日、明治記念館(東京都港区)で実施。公募の部で産経新聞社賞、奨励賞、会友奨励賞を受賞した35人が、産経新聞社の飯塚浩彦取締役会長らから賞状と記念のトロフィーを授与されました。(事務局)

巨大なインパクト 「大作展」開催 上野の森美術館

令和6年に創立40周年を迎えた産経国際書会。数々の記念イベントの最後を飾る展覧会「未来に向かう産経国際書会―大作を中心に―」(大作展)＝産経新聞社など主催＝が4月20日から24日まで、東京都台東区の上野の森美術館で開催されました。

大作展では、同美術館・本館(1階、2階)を会場に、縦・横数メートルに及ぶ力作を所狭しと展示。その迫力満点の作品を大勢の来場者が見入っていました。

出品者は、書会役員をはじめ、ベテランから次代の書会を担う書家まで選りすぐりの「精鋭」がずらり。産経国際書会の総力を結集し、未来の書道界に向けて、書道の魅力とは何かを伝えるメッセージを発信できました。

開幕式で挨拶に立った風岡五城名誉理事長は「書家は自作の何が良く、何が足らず、どうすべきかを振り返るのが大事。また違った方向性が出てきて良い作品ができる」とさらなる飛躍を期待しました。

夕方からは、中華料理「東天紅上野本店」で祝賀会が盛大に行われました。飯塚浩彦産経新聞社取締役会長、鈴木裕一常務取締役をはじめ、出品者やご来賓、表具店、出版関係者など92人が参加しました。

齋藤香坡最高顧問、手島たいりく・今口鷺外両名誉顧問ら出品者本人が、会場の大型スクリーンに映し出された自作を前に、ユーモアたっぷりにおしゃべりを展開する「解説コーナー」は大好評。出席者は楽しいひと時を過ごしました。(事務局)



〈出品作家71人〉

青木錦舟、生田佳葉、生田博子、石黒鴻羽、磯邊哲舟、伊藤牙城、伊藤春魁、今口鷺外、岩浅写心、宇野淳風、大場映翠、大久恵華、岡本杏華、風岡五城、加柴律子、勝田晃拓、加藤松亭、加藤竹藜、金丸鬼山、鎌田悠紀子、木住野栄、木村大澤、黒田浩芳、小宮求茜、齋藤香坡、五月女紫映、坂本香心、佐藤志陽、白石百合子、白崎菖汀、沈強、菅原有恒、鈴木曉昇、高木撫松、高頭子翠、高橋翠石、高橋照弘、竹澤玉鈴、武富明子、建部恭子、谷蒼涯、田村政晴、手島たいりく、殿村蒼園、長尾佳風、永田龍石、中村雪鷺、西川万里、羽根田菖風、早坂喜伊、原田圭泉、久田方琥、正川子葉、町山一祥、松井玲月、松崎龍翠、三宅秀紅、宗像翠龍、村田白葉、望月曉云、本山鈴翠、諸留大穹、柳鵬翔、山口了世、山下海堂、山田秀園、山本晴城、吉野富龍、渡邊麻衣子、渡部美恵子、渡邊麗

(五十音順)



テープカット



開幕式であいさつする風岡五城名誉理事長



祝賀会で自作を解説する齋藤香坡最高顧問



QRコードで解説をダウンロード



盛り上がりを見せる祝賀会



賑わう会場



女優・左時江さん(左)も来場、岡本杏華常務理事(中央)と

うちの社中を紹介します!

宏道書会

産経国際書会評議員
宏道書会副理事長 大竹翠葉

昭和50年、初代会長山本宏城先生が愛知県犬山市で創設したこの会は、今年50周年の節目の年を迎えます。

宏城先生は漢字を小川南流先生(元産経国際書会参与)、大池晴嵐先生、かなは山本御舟先生、ペンは三室小石先生に師事。「書」に対し、幅広く、貪欲に学ばれました。その情熱に賛同する若者が多く集結し、研鑽を積んでまいりました。

平成5年に宏城先生が64歳の若さで急逝されると、当初の会則では会長は「一代限り」とありましたが、残された若い会員たちの将来を考え、風岡五城先生(産経国際書会名誉理事長)が2代目の会長に就任。教育者でもあった五城先生のご指導の基、古典を基礎とした伝統的な作品や、アート作品にいたるまで、会員一丸となって会を盛り上げていきました。

平成21年からは宏城先生のご長男、山本晴城先生(産経国際書会副理事長)が会長に就任しまし

た。晴城先生は伝統の書はもちろんのこと、古代文字の金文を使った作品作りをされるなど、より新しい書会へと導かれています。

現在のご指導は、風岡五城先生、山本晴城先生、木村大澤先生(産経国際書会常務理事)によって行われ、産経国際書展をはじめ、中部圏で行われます東海書道藝術院展、宏道書会本展、及びそれらに関連する小品展など、多くの展覧会への出品をしております。展覧会の作品制作ごとに錬成会も開かれ、先生方の優しくも厳しいご指導の下、私達会員も毎日必死に頑張っております。

本年50年という節目の年に、宏道書会では8月に名古屋電気文化会館で記念展を、また10月には東京朝日ギャラリーにて代表展を開催する予定です。二八や二六横サイズの作品に加え、小品も展示予定です。ご高覧頂けると幸いです。

会員一同精進して参ります。今後とも宏道書会をよろしくお願いいたします。



大村秀章愛知県知事らも出席した「東海書道藝術院展」祝賀会=昨年4月、名古屋市



「四国展」講演会でコメントする風岡五城名誉会長(右)=昨年12月、松山市



好評を博した第49回宏道書展=昨年8月、名古屋市



四国展の贈賞式に出席した山本晴城会長(右)=昨年12月、松山市



新春展開催に向け展示指導にあたる山本晴城会長(右)=1月、東京都港区

「第41回産経国際書展」特別色紙展の募集

第41回産経国際書展では昨年に続き特別色紙展を行います。この特別色紙展は第21回産経国際書展からはじまり今回で16回目となります。

高円宮妃久子殿下から、いつまでも無理なく書に楽しく取り組んでいただけるようにという思いで、毎回御題を下賜していただいております。下記の要領にて実施いたしますので、資格のある先生方は奮ってご出品ください。

御 題	「進」あるいは「瞬」どちらかを選んでください。	締 切 応 募	令和6年6月7日(金) 必着 作品に出品票を添えて、搬入先まで直接お申し込み下さい。
展示場所	東京都美術館ロビー階(予定)	搬入先	藤和額装(株) 〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台7-51-12 TEL045(833)5273 FAX045(833)5275
期 間	令和6年8月14日(水)～8月21日(水)		
作品体裁	色紙(273mm×243mm) ※数ミリの誤差はかまいません。		
出品料	無料		
出品資格	80才以上の会員。但し本展出品者に限り ます。 ※会友以上、昭和19年以前(19年生まれは含む)に生まれた先生		

◎応募いただいた作品は全て額装して東京本展に展示します(額装代は書会負担)。

◎各地方展へは当該地方在住者の作品を展示します。

◎作品は展覧会図録に掲載します。展覧会終了後、額装のままご返却いたします。

【問合せ】産経国際書会事務局 TEL03(3275)8902 FAX03(3275)8974

「第41回産経国際書会新春展大作」の募集

産経新春展の顔、として定着してきた大作。

産経国際書会を代表する力溢れる大作の募集を行います。出品資格を満たせばどなたでも出品は可能ですが、大作は産経国際書会全体の力量が問われます。

自薦、他薦ともに下見会を実施します。

出品資格 無鑑査以上

応募締切 8月30日(金)

応募数 5点(最大7点まで)

下見会 9月19日(木)

寸法 4×4m以内

※下見会では、作品に関してアドバイスをを行い、時には書き直しなどをお願いする場合があります。作品は下見会までに表具店へ搬入をお願い致します。応募は書会事務局までご連絡ください。出品料は5万円、表具代1点10万円まで補助します。但し、6点の場合は8万円、7点の場合は7万円までとします。

各会書展お知らせ(産経新聞社後援)〈令和6年5月～10月〉

展覧会名	会期	会場	社中名	代表
及川扇翠の世界展	5月16日(木)～5月22日(水)	上野の森美術館ギャラリー	扇翠アート学院	及川扇翠
第49回鐘雲書道展覧会	5月25日(土)～5月26日(日)	埼玉・寄居町中央公民館	鐘雲書道会	大澤芳洲
第14回佳趣会書展	6月14日(金)～6月16日(日)	京都文化博物館5階	京都佳趣会	長尾佳風
第48回国藝書道院展	6月14日(金)～6月17日(月)	鎌倉芸術館	國藝書道院	齋藤香坡
第58回書峰展	6月22日(土)～6月23日(日)	埼玉・秩父地場産センター	書峰書道会	田島青谷
2024臨泉会選抜小品展	6月25日(火)～6月30日(日)	東京・銀座鳩居堂画廊	臨泉会	原田圭泉
第49回梓書道会展	6月29日(土)～6月30日(日)	東京・タワーホール船堀	梓書道会	市原蘇水
諸留大穹書アートの世界。	8月13日(火)～8月18日(日)	東京・銀座鳩居堂画廊		諸留大穹
第10回日本書蒼院展	8月15日(木)～8月18日(日)	東京・浅草公会堂展示ホール	日本書蒼院	谷 蒼涯
第50回宏道書展	8月20日(火)～8月25日(日)	名古屋電気文化会館	宏道書会	山本晴城
groupf 2024展 vol.7 東京～新たな可能性を求めて～	9月4日(水)～9月8日(日)	東京・目黒区美術館 区民ギャラリー	groupf	佐 那
第10回方城書院書画展	10月3日(木)～10月8日(火)	大阪・茨木市立ギャラリー	日本書道学士院	久田方琥
第1回明扇書藝會展覧会	10月11日(金)～10月14日(月)	長野県立美術館	明扇書藝會	長谷川明扇
第39回日本総合書作院展	10月17日(木)～10月20日(日)	ベルマージュ堺式番館2～3F 堺市立文化館ギャラリー	日本総合書作院	篠原秀朋
創立50周年記念 宏道書会代表展	10月25日(金)～10月29日(火)	東京・有楽町朝日ギャラリー	宏道書会	山本晴城

書展トピックス

第11回鎌田悠紀子書展 (ぬくもりの書を求めて)

鎌田悠紀子

●会期 1月20日(土)～29日(月) ●会場 京王プラザホテル ロビーギャラリー

11回目を迎えた「鎌田悠紀子個展」は、京王プラザホテル(東京・新宿)が主催。案内状はホテルに一任でした。しかし作品は、鑑賞者が飽きないように、仮名、漢字、調和体と変化を持たせ、計54点を展示しました。

PR動画を発信すると、書道関係者以外の方からも問い合わせがありました。

東大名誉教授、元宮内庁式部官長もお見えになり、ご縁の広がり感謝・感謝です。ホテルの学芸員の方も大満足。有意義な時間となりました。



尚友会70周年記念書展 ●会期 1月25日(木)～29日(月)

●会場 「キラメッセぬまつ」(静岡県沼津市)市民ギャラリー 小杉修史



「尚友会」創立70周年を迎え、私たちはこれまでの研鑽を礎に「今の自分」を現した作品約70点(大作8点を含む)を展示しました。創設者の故・佐野丹丘(たんきゅう)氏、故・岩間清泉氏らの先達作品も会場に華を添えました。多くの方が来場され、「楽しい展覧会だ」とお褒めの言葉をいただきました。活動の足跡をまとめた旧冊子(遺墨展、ユニセフ展、鳩居堂展、碑林活動など)で案内しました。

第35回記念書成会書展

●会期 2月15日(木)～18日(日)

●会場 セントラルミュージアム銀座(紙パルプ会館5階)

建部恭子

今回で35回目を迎えた記念展は、展示数129点、高校1年生から白寿の方まで幅広い年齢層が参加。淡墨の詩文作品や少字作品を中心にバラエティーに富んだ明るい展示となりました。若い方々の今後の一層の成長に期待したいと思います。

4年ぶりの祝賀会は、和やかなムードに包まれ、会員の方々の絆が深まったと思います。5年後の40回展を目標にさらに力をつけたい。



青木錦舟書作展

●会期 3月10日(日)～16日(土) ●会場 東京交通会館ゴールドサロン 青木錦舟



前回の鳩居堂(東京・銀座)における個展から16年ぶりの今展。自らの書を客観視する良い機会と捉え、また、応援してくださっている方々に感謝をお伝えできればと開かせていただきました。

素材に寄せる思いを大切に、平明に分かりやすく、願わくば誰かの心に届くことを夢見て、歩みを進めたく存じます。書会の先生方をはじめ、事務局の皆様には、ご多忙の中、多くの御足労を賜り、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

第40回書のコアン メントールぼくりん

遠藤乾翠

●会期 3月12日(火)～17日(日) ●会場 鳩居堂画廊

コアンはフランス語で街角やコーナー、メントールはギリシャ神話の女神の意。かつては女流書展でしたが、現在は男性書家の作品も展示されています。

今回、出品したのは「墨林書道院」(乾翠会長)の会員たちです。中国古典や日本の童謡などを題材に楷書、隸書、行書、草書、仮名などバラエティーに富んだ作品約40点が会場を華やかにしてくれました。遠藤悠翠理事長は、春を先駆けるほんのりとした「花月」、坂本雅峰副理事長は直線的な筆致で鋭い「白雲悠々」を披露しました。



アラカルト

大阪・関西万博で特別展開催

産経国際書会は「2025年大阪・関西万博」(大阪・夢洲、4月13日～10月13日)で、特別展「The World of `SHO、/Japanese Calligraphy 産経国際書展 大阪関西万博展」(仮称)を開催します。会場は「ギャラリーEAST」(約300㎡)。会期は令和7年6月14日から同19日まで(会期中は無休)。午前9時から午後9時、最終日は午後4時閉場。



展示内容は半切、70×70を中心に軸装作品150点。出品資格は基本的に評議員以上とし、出品料は3万円(税込み)予定。特別展入場は万博会場への入場料のみ。出品の応募締め切りは令和6年8月30日(定数に達し次第終了)、作品搬入の締切は令和7年1月31日。

WEBサイト「正川子葉記念館」開設

産経国際書会の正川子葉副理事長は自身のWEBサイト「正川子葉記念館」を開設しました。「書」を多くの人々に身近に感じてもらい、「文字」を通して豊かな心を育んでもらえればと願いを込め、諺や先人の言葉などを紹介しています。また、「『書』に豊かにしてもらった」という自身の人生の軌跡を赤裸々に発信しています。興味のある方はアクセスを!



奈良の「墨の資料館」を訪ねて

産経国際書会事務局は4月6日、奈良市西ノ京町にある人気観光スポット「墨の資料館」を訪問。1300年前の昔から奈良に伝わる書道文化の底力を肌で感じる貴重な機会を得ました。同館は平成6(1994)年にオープンした3階建ての体験型文化施設です。松井玲月副理事長のご子息、昭光氏が社長を務める老舗墨メーカー「墨運堂」(本社・奈良市六条)が書道文化の発展・継承を目指して建設。付近には唐招提寺や薬師寺などの名刹があります。



墨の香りが漂うフロアで、墨造り職人がテンポ良く墨を練り、足で踏み、形を丸めたり伸ばしたりして、型入れ作業に集中していました。円筒状に伸ばされた墨をにぎる「にぎり墨」も体験。墨の製造工程がパネル写真で分かりやすく展示されていました。

第39期決算と第40期予算

税別

区分	第39期		第40期
	予算	実績	予算
収入	会費収入等	102,300,000	95,289,290
	事業費	32,700,000	27,264,654
支出	国際書展出品料	31,000,000	28,664,545
	その他運営費等	38,600,000	39,360,091
			39,800,000

会費収入 (単位:円)税別

区分	第39期決算	第40期予算
審査会員	47,223,182	49,000,000
無鑑査会員	20,674,543	21,000,000
会友	13,598,182	13,000,000
計	81,495,907	83,000,000

出品料 (単位:円)税別

区分	第39期決算	第40期予算
審査会員(3万円)	15,600,000	16,181,818
無鑑査会員(2万円)	8,018,182	9,090,909
会友(1.3万円)	5,046,363	4,727,273
計	28,664,545	30,000,000

追悼

次の先生が黄泉につかれました。
本会での活躍とご指導ご鞭撻を賜りましたことに厚く御礼申し上げますとともに、
心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌。(敬称略)

審査会員 片山澄男(令和6年1月)

編集後記

爽やかな透明な風、新緑のオゾンが心地よく包んでくれる季節になりましたが、4月としては各地で夏日を記録するなど季節外れの暑さとなりました。

これから益々温暖化が進み、この夏はどのような猛暑となるのか気がかりです。

今年も1月の新春展から始まり、4月には大作展が開催されました。書会挙げての大作展は珍しく、外部からの反響など大きな成果を上げることができました。ともに盛会裡に終わることができ、第40回記念産経国際書展の記念すべき行事となりました。多くの皆様に感謝申し上げる次第です。

ただ、コロナ禍も落ち着き、平常に戻ったかのようにみえる平和な日本ですが、長引く戦争を映像で見るたびに胸が痛みます。

そして、元日に襲われた能登半島地震。被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。また各地で頻発する地震など天災や人災は、いつどこで起こるか分からない不安に駆られます。

せめて今、私たちにできることを精一杯取り組み、41回展に向けて励んで参りたいと思います。

(小川艸岑)

(会報編集委員／高頭子翠、小川艸岑、影山瑤琴、早坂喜伊、横田玉華、渡邊麻衣子)

表紙：題字揮毫は高橋照弘理事長

編集・発行 令和6年5月号
〒100-8079 東京都千代田区大手町1-7-2
産経新聞社事業本部内
産経国際書会事務局
TEL:03(3275)8902 FAX:03(3275)8974
email : shokai@sankei.co.jp
<http://sankei-shokai.jp/>
<https://www.facebook.com/sankeishokai>



産経国際書会
ホームページ

お願い

会員の皆様に住所・電話番号等の変更があった場合には事務局までご連絡くださいますよう、また、各会書展のお知らせは早めにお願ひ致します。